



平成 23 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 大場 典彦
(JASDAQ コード番号 7918)

問い合わせ先

役職・氏名 取締役 今井 将和
電話番号 03-5155-6801

特別損失の発生及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成23年3月期第4四半期において、下記の通り、当社及び当社子会社において特別損失が発生する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成22年5月14日付「平成22年3月期決算短信」にて発表いたしました平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)を修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 災害損失及び減損損失(連結)

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、東北地方及び関東甲信越地方の店舗において、食器・備品等の破損、建物・設備等の毀損などの被害が発生するとともに、ライフラインの停止等により、一部店舗では営業を休止いたしました。また、再開見込みが立たない店舗及び震災の影響により売上の回復が見込めない店舗について、閉店することいたしました。その結果、当社の子会社である株式会社扇屋コーポレーション、株式会社フードリーム、株式会社一丁、株式会社紅とん、株式会社ぼちぼち及び株式会社NBKにおいて災害損失760百万円を計上いたしました。また、地震発生以降において実施された計画停電やそれにもなう消費者の生活行動の変化等の影響により、収益の急激な低下がみられた店舗について、減損処理を行なうこといたしました。その結果、株式会社扇屋コーポレーション、株式会社フードリーム、株式会社紅とん、株式会社一源及び株式会社NBKにおいて減損損失677百万円を計上することとなりました。

(2) 投資有価証券の評価損(連結)

当社及び当社子会社である株式会社一源の保有する「投資有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じました。

平成23年3月期第4四半期における有価証券評価損

	個別	連結
(A)平成 23 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額(=イーロ)	2 百万円	4 百万円

(イ) 平成 23 年 3 月期通期(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	2 百万円	10 百万円
(ロ)直前四半期(平成 23 年 3 月期第 3 四半期)累計期間(平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	一百万円	5 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B)平成 22 年 3 月期末の純資産額	5,712 百万円	7,216 百万円
(A/B×100)	0.0%	0.1%
(イ/B×100)	0.0%	0.1%
(C) 平成 22 年 3 月期の経常利益額	396 百万円	368 百万円
(A/C×100)	0.7%	1.2%
(イ/C×100)	0.7%	2.8%
(D) 平成 22 年 3 月期の当期純利益額	141 百万円	△537 百万円
(A/D×100)	2.0%	—
(イ/D×100)	2.0%	—

2. 業績予想の修正

(1) 平成23年3月期通期の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	38,000	1,000	750	△500	△20 円 59 銭
今回予想 (B)	36,802	595	387	△2,200	△90 円 47 銭
増減額 (B - A)	△1,198	△405	△363	△1,700	△69 円 88 銭
増減率 (%)	△3.2	△40.5	△48.4	—	—
(ご参考)前期実績 平成 22 年 3 月期	39,820	612	368	△537	△22 円 14 銭

3. 修正の理由

(1) 平成23年3月期通期の修正

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、当社グループ店舗のうち23店舗が被災いたしました。現地のライフラインの復旧と店舗損害の回復の程度に応じて、4月20日現在は10店を除き、営業を再開することができました。一方で、計画停電や自粛ムードの影響により、地震発生以降、全国的に消費の減少傾向が急激に進み、グループ全体での売上高が急激に低下いたしました。このことにより営業利益及び経常利益が予想に対して未達となる見通しとなりました。

当期純利益につきましては、前記の特別損失の発生及びその内容にありますとおり、震災の直接的

な影響による災害損失をはじめ、収益の急激な低下がみられた店舗の減損損失、株価の急落による投資有価証券の評価損等の特別損失を計上したため、計画を下回る見込みとなりました。

以上の理由から、売上高は36,802百万円(前回予想比△1,198百万円)、営業利益は595百万円(同△405百万円)、経常利益は387百万円(同△363百万円)、当期純利益は△2,200百万円(同△1,700百万円)となる見込みです。

- * 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上